

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

# SAKURA

Since 2013



Vol.19  
9・10月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



9月22日発売 山形 由美 新CD「Eternally ~永遠のジゼル~」より

## 澄み渡るパリの風を感じて

== INDEX ==

Pick Up Artist

山形 由美 / 菅野 潤

さくらプラザ自主事業レポート

真夏のこども探険隊 ~ようこそへんてこな森へ!~

### 連載

さくらプラザ館長の『東へ西へ』  
戸塚出身!ソプラノ歌手 市原 愛の「歌の翼に」  
男は背中では語る 戸塚見返親仁  
出張! THE LEAPS の行つたるチャン!  
さくらプラザ User's Voice  
出張! 戸塚新聞



山形さんの愛してやまないバレエ音楽のお話、そして30周年を迎えるリサイタルへの想いなどを共演される菅野 潤さんとお伺いしました。

—お二人の初共演の時期、その時の印象をお聞かせください。

菅野：昨年秋でしたね。  
 山形：そうですね、音合わせをしたのはその頃ですが、初めてお会いしたのは、3年前のコンサートイマジン主催七夕コンサートでしたね。  
 ピアニストばかりが1曲ずつリレー方式に演奏するコーナーに出演されていたんですけど、素晴らしく美しい音で弾かれていたのがとても印象に残っています。今とお変わりなくとも品が良く穏やか。でも内に秘めた熱い思いをお持ちの方ですね。経験豊富な大人の雰囲気を感じていらっやいました。

—菅野さんはいかがでしたか？

菅野：山形さんのことはお写真やメディアで拝見していましたが、それにも増して非常に存在感があって、華やぎと優雅さを持ち合わせた知的な方です。それと知性と感性のバランスが取れた方ですね、いつもおっしゃることが的確ですし。  
 山形：お互い褒め合ってしまったね(笑)。

—9月のリサイタルのタイトルにもあります「パリ」はお二人にとってどのような場所でしょうか？

山形：なぜ「パリ」と言うと、菅野さんがパリで活躍されているから(笑)。  
 パリの風を菅野さんに運んでいただき、そしてそれを私も感じたいと思い、タイトルにつけました。  
 フランスに住んだことはないんですけども、叔父が長いこと住んでいましたので、子どもの時にパリのことをよく聞かされていて、ヨーロッパと言えば「パリ」という強い憧れを持ちながら成長してきました。  
 初めてパリに行ったのが、大学3年生の時でしたが、本当に感動しました。



フルーティスト  
 やまがた ゆみ  
**山形 由美**

ピアニスト  
 かの じゅん  
**菅野 潤**

山形 由美さんとともに菅野 潤さんの運んでくるパリの風を感じてみませんか。

菅野：日本の学校を卒業してフランス政府給費留学生として留学したのがパリでした。  
 なぜパリであったかという、一つは、日本での私の先生が安川加壽子先生で、日本でのフランス流派の代表の方でいらしたと、あとはメシアン夫妻に出会ったということ。  
 ヨーロッパの文化・文学・思想の中で、特にフランスの文化に惹かれるものがありましたね。

—今回のリサイタルのきかせどころをお聞かせください。

山形：今回、アダンの「ジゼル」というバレエ作品の第2幕を取り上げて、加藤昌則さんにオリジナルでアレンジをしていただきました。その曲がとても美しく、私の最も好きなバレエの一つなので、CDに収録しています。  
 ジゼルが亡くなり精霊になって現れるのですが、かつての恋人と一緒に踊り、そして別れてジゼルは再びあちらの世界に戻っていく……。という切ない場面なのですが、そこがすごく好きで。  
 菅野さんはどの曲が楽しかったですか？  
 菅野：モーツァルトも好きですし、ピアノではあまり弾かない「ジゼル」やリュリの「パッサカイク」、あとやはり「精霊の踊り」は名曲で、演奏しながら胸に迫るものがありますね。ヴォーン＝ウィリアムズの「バレエ組曲」も好きでした。  
 リズムが変わっていておもしろいし、ハーモニーも独特ですね。  
 自分のピアノのレパートリーにはない新鮮味がありました。

—今回は世界初演作品「フルートとピアノのためのカプリス〜笛の旅〜」を演奏されますね。

山形：加藤昌則さんにフルートや笛で日本中を旅しているようなイメージで作曲をお願いしました。踊りのリズムなども使って。  
 作曲家の方が故人の場合は、楽譜やこれまでのすばらしい演奏を頼りに勉強することがありますが、幸いなことに作曲家の方が生きていらっやるので、直接伺うことができますね。  
 でも加藤さんは「こうやって吹いてください」という押し付けはまったくなくて、こちらがやりたいような形で自由にやらせていただきました。  
 菅野：すごくおもしろい、良い曲だと思います。日本的な感性と人生の旅が重なるような感じでしたね。  
 われわれ演奏者は初演を恐れるのですが、意外に作曲家というのは「自由に演奏してください」とおっしゃる方は多いです。



—踊りをテーマにされるのは、やはり山形さんの希望ですよね？

山形：小さい時から20歳くらいまでバレエをやっていました。  
 去年ロシアのバレエダンサーのカップルの方の日本公演の際に、グルックの「精霊の踊り」で共演させていただきました。冒頭、男性が女性を持ち上げた形で出てくるのですが、羽衣のような衣裳をまとって、照明が暗いのでまるで浮いているように見えるんですよ。それを見ていたら、吹くのを忘れるくらい「すごーい」と鳥肌が立ってきてしまって。その時、バレエとフルートは自分にとって大切なものだと改めて思ったことから、30周年の年に「バレエ」「踊り」にテーマを置いて選曲しようと思いました。

—9月のリサイタル日がCD発売日ですね。

山形：CD発売当日にCDを収録したホールでリサイタルを行うというのは、私は初めて！ とても幸福なことですし、楽しみです。  
 収録している曲をなるべくたくさん聴いていただけるように考えています。

—若い世代の方に一番伝えたいことをお聞かせください。

菅野：音楽に対する姿勢のようなことでしょうか。真摯に音楽と向き合うこと。楽譜を読み取るということはすごく大事だと思います。技術というのは単により早く・より強く、だけではなく、音楽を表現するための技術だということです。それがすごく大事なことだと思います。  
 音楽が仕事になってしまうのではなく、良い演奏者としてどんなに小さな音楽会だとしても一生懸命やるということ。音楽というものに対して一生そういった姿勢を持ち続けてもらいたいと思います。  
 山形：フルートは自分の息を使って直接息を吹き込む楽器です。ですから技術と心理面はすごく反映しやすいんですね。レッスンをする時でも緊張感を持ってしまうと、学生さんはそれだけで良い音につながらなかつたりしますので、まずはリラックスして楽器に触れるということが大切だと思います。  
 そして「昨日よりちょっとでも良い音を響かせる」という思いを常に持つことが、ひいては自分の音を作っていくことにつながっていく。あとは自分がどんな音が好きで、どのような音にしていきたいかイメージを強く持つことですね。そういう意味では私は習った先生がとても素敵な音を出していらっやしたので、ちょっとでも近づきたい、このような音を出したいと自然にそれが自分の音になっていきまし

た。学生さんに対して、私が責任を持って良い音を聞かせてあげられるようにしなければと感じています。

—今後の目標をお聞かせください。

山形：まずは30周年の年を一生懸命演奏して、そうするうちに何か次の目標ができてくるかな、という気もしています。自分としては30年も活動し続けていけるとは思っていません。気が付いたら30年たっていました。こうなったら50周年目指して元気ががんばろうと思っています。

菅野：実は私も東京でのリサイタルデビューは1986年で、今年が30周年なんです。

山形：同じですね！  
 菅野：山形さんと共演させていただき、また新しい音楽に触れたり新しい演奏家と出会うのが新鮮で、刺激にもなり喜びでもあります。それを力にこれからも活動していきたいと思っています。

—最後に戸塚のみなさまへ一言お願いします。

山形：本当にすてきなホールなので、楽しんでいただけるように一生懸命演奏しようと思います。CD発売と同日のコンサートは珍しいことですので、ぜひ多くの方に体験いただければと思います。  
 菅野：CD発売と同じ場所で同じプログラムという画期的な演奏会ですので、ぜひ戸塚に足を運んでいただき、まさにその瞬間をお楽しみいただけるように力を込めて演奏したいと思います。

—ありがとうございました。

(取材・文：板澤 桂子)



爽やかな風の中に響き渡る優雅なフルートの音色  
**山形由美デビュー30周年 CD発売記念リサイタル**  
 ～パリの風にのって～ with 菅野 潤

**2016年9月22日(木祝) 開演 14:00(開場 13:30)**  
**全席指定 一般 2,500円/ペア 4,500円**  
**学生 1,500円**

**加藤昌則委嘱作品 世界初演!**

プログラム  
 ・モーツァルト： Rond. KV184 D dur  
 ・アダンの(加藤昌則編)：永遠のジゼル 「ジゼル」より  
 ・グラナドス：スペイン舞曲 第5番  
 ・チャイコフスキー：感傷的なワルツ 作品51  
 ・バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 Sz.56  
 ・ヴォーン＝ウィリアムズ：バレエ組曲  
 ・リュリ(加藤昌則編)：「アルミード」よりパッサカイク 他

# さくらプラザ 館長の『東へ西へ』

## 第3回 悲劇の皇子と『鎌倉』を旅する

写真・文 田中啓介

今回は、誰もが知っている歴史的大事件を巡って。

戸塚に「鎌倉幕府の滅亡」や「建武の新政」に大きな役割を果たした人物に所縁の場所があることをご存知でしょうか。「建武の新政」のメインキャストである「後醍醐天皇」や「足利尊氏」は、良く知られています。では、「護良親王」はどうでしょう？

「モリナガシンノウ」。

日本史で教わっているはずだけど、ぱっとイメージできる人は少ないかもしれません。

護良親王。後醍醐天皇の第三皇子で、鎌倉幕府討幕に活躍し、倒幕後の「建武の新政」では征夷大将軍になっています。本来なら、のちの幕府のトップになっていたかもしれない悲劇の皇子。

親王は、父・後醍醐帝の治世安泰たれと、倒幕に功があり大きな力を持って来た足利尊氏がやがて敵となることを恐れ、尊氏討伐のため兵力を集めます。ところが足利尊氏は、後醍醐天皇に「護良親王は父帝を亡き者にして自ら即位しようと兵を集めてますぜ。」と讒訴します。

奸策によって捕らえられた護良親王は、鎌倉に配流、東光寺の土牢に幽閉されてしまいます。

それが1334年11月15日のこと。

年が明けて1335年、鎌倉幕府の残党を集めた北条時行軍が鎌倉に攻め入り、鎌倉を守っていた尊氏の弟足利直義軍は、鎌倉から敗走します。その時に、征夷大将軍護良親王と鎌倉幕府執権北条時行が手を組んで鎌倉幕府を再興することを恐れた直義は家臣淵辺義博に護良親王殺害を命じます。

1335年7月23日、護良親王は淵辺義博の凶刃に倒れ、その生涯を閉じました。御年28歳でした。

護良親王の首級の行方については、いくつかの伝説が残されています。正室南の方または侍女が奪ってどこそこに葬ったとか、淵辺義博が実は殺したことにして逃がしたというもので様々。数カ所に護良親王の墓と伝わる場所が残っています。

そのひとつに、親王の侍者(侍女)がその御首を奉じて四抗の勤王の郷土齋藤氏を頼り、ひそかにある場所に埋葬したという言い伝えがあります。「四抗」とは、御首を洗うための四本杭の簀子の意、あるいは鎌倉街道上で鎌倉から四つ山を越えた〈よつごえ〉の転訛とも言われています。

それが現在の戸塚区柏尾町、王子神社の本殿が建っている場所です。



首洗い井戸

王子神社の南側の住宅地の中には、途中で侍者が親王の御首を洗ったと言われる「首洗い井戸」が残されています。

「首洗い井戸」へはバス停「不動坂」から、「王子神社」へはバス停「ポーラ前」から。「王子神社前」の信号を入れてしばらく進むとすぐ右手に王子の杜が現れます。

護良親王終焉の地東光寺跡には、親王の御遺志をたたえ永久に伝えることを強く望まれた明治天皇の勅命により、明治2年『鎌倉宮(大塔宮)』が造営されました。鎌倉宮の奥には、親王が幽閉されていた土牢跡が復元されています。



鎌倉宮全景



鎌倉宮土牢

鎌倉宮からほど近い二階堂の谷戸には護良親王の墓があります。宮内庁の石碑が建つ正式な親王の墓所です。昔この辺りに理智光寺という寺がありました。護良親王を殺害した淵辺義博は、親王のすさまじい死相に恐れをなし、御首を藪の中に捨てて逃げたそうです。それを理智光寺の僧侶が拾って山上に埋葬したとのだと伝えられています。この山上が、本当に山の上で、苔むした階段を登れど登れどまだ見えないというような高みにあります。

悲劇の皇子護良親王の御首は果たしてどこに葬られているのか。

王子神社の祀神はもちろん護良親王命です。本殿に手を合わせながら、今からおよそ700年前、ここに悲劇の皇子護良親王の御首が葬られたらと思うと、静謐な思いはさらに深くなるのです。



護良親皇陵墓

行った気になる  
バーチャルツアー

QRコードから動画をご覧いただけます。



王子神社参道

<https://youtu.be/JChBjMfMIRg>



王子神社参詣

<https://youtu.be/pNmUkE2yZEA>



王子神社本殿

<https://youtu.be/K3-wqdkdy9w>



王子神社鈴雨だれ

<https://youtu.be/HxlcD0lpebc>

# 真夏の こども探検隊

～よろこぼへんてこな森へ！～

2016年7月23日(土)開催

さくらプラザ全館を使って、ご家族みんなで楽しめるイベントを開催しました。  
ご来場人数は延べ約3,000人！  
歓声と笑顔があふれる1日となりました。

\*来場者数は各回の合計となります。

参加者  
77名

## 光洋のひみつ基地で パントマイム体験！

紙飛行機を飛ばし、綱渡りをし、ほふく前進……！  
へんてこな森をパントマイムで冒険しました。  
ちいさなお子さまも立派な表現者に☆ラストはステイールパンとコラボし、音楽に合わせて観客の前でパフォーマンス！思わず笑顔がこぼれます。  
出演：パントマイマー 山本 光洋



参加者  
105名

## 陽だまりパン・ヴィレッジの スティールパン・ワークショップ

夏らしくトロピカルな音色に心ウキウキ♪  
オープナーのスタートを彩るオープニング演奏も  
たくさんの方に聴いていただきました。  
スティール缶をへこませ自分だけの楽器を作り、ラストは講師と一緒に音を出しながら、館内をパレード！  
出演・講師：二ノ宮 千紘 ほか

参加者  
536名

## まほうのじゅもんを知る動物たちを追え！ 宝さがし

動物たちが持って逃げてしまった「まほうのじゅもん」  
が書かれたカードを6枚見つけ出すと、宝を手に入れる  
じゅもんが完成！「どこ？」「難しい！」という声も聞  
こえてきました。



来場者  
766名

## こぼんだウインドアンサンブル 夏休みファミリーコンサート

新進気鋭の吹奏楽団によるスペシャルステージ！  
イタリアやルーマニアなど世界各地の音楽やディズ  
ニーソングメドレーなど、楽器の紹介やお話を交えて  
にぎやかで楽しいコンサートになりました。  
開演前には楽器体験も♪  
出演：こぼんだウインドアンサンブル  
協力：株式会社ヤマハミュージッククリエティング



来場者  
129名

## 魔法使いしらていーのどうくつ オペラ紙芝居「子どもと魔法」

スクリーンに映し出された可愛らしい絵と美しいピア  
ノのメロディー、そしてお話で楽しむオペラの世界。  
毎年大人気のオペラ紙芝居です！  
出演：しらていー(ピアノ/おはなし)



参加者  
184名

## ジャングルの ないしょのらくがき！

白い壁をキャンパスにし、マスキングテープで自由に  
落書きしました。あっという間にカラフルで楽しい世  
界のできあがり☆作品は7月末まで展示し、好評をい  
ただきました。  
講師：美術家 佐藤 未来



来場者  
833名

## 暗やみ沼ひげじいきむらと見上げる ジャングル星空さんぽ

ギャラリーに巨大なプラネタリウムドームが出現！  
夏の戸塚の星空とジャングルの夜空を比べてみまし  
た。ここ戸塚でも、見られる星座はたくさんあるんで  
すね♪  
協力：東京モバイルプラネタリウム



来場者  
300名

## 気ままな旅人けーすけの バルーンアート

お笑い芸人によるトーク&バルーンショー！  
カラフルな風船が次から次へと、かわいらしいペン  
ギンや花に変身☆  
出演：けーすけ



「声楽はいつから始めたんですか？」という質問を受けることがよくあります。私は高校1年生でその世界に飛び込んだ訳ですが、日本ではその位の年齢で始めるのが一般的なようです。

私が留学していたミュンヘン音楽大学の同級生たちは、他の国からの留学生を含めて年上が多かったので、ヨーロッパではもう少し遅くから始めているのかもしれませんが？！ ピアノやヴァイオリンと違って、身体そのものが楽器ですので、良くも悪くも、成長の影響をモロに受けることは間違いなく……。例えば、ウィーン少年合唱団で活躍した子供が、成人後にオペラ歌手になった例というのはそれ程多くありません。

(私が専属契約をしていたアウグスブルグ歌劇場の同僚にひとりいましたが…！)

男性の場合、変声期を乗り越えるのが大変なことの理由のひとつかもしれないですね。

女性の場合は、妊娠出産を機に最も大きな変化を迎えるようです。私の経験ですと(3年前に娘を出産しています！)安定期に入ると声の響きが丸くなり、調子の波がなくなりました。発声をしなくてもいつでもよく鳴るといふか、赤ちゃんと共に声も安定した、という感じ！(笑)

お陰で、大きなお腹で沢山の演奏会に出演させて頂きました。

妊娠5ヶ月の時には文化庁主催で東北地方の小学校を巡るツアー、7ヶ月の時にはドレスデン聖十字架合唱団との全国ツアーなど、周りのスタッフさんが冷や冷や心配する中、私自身は何の不安もなくやり遂げてしまいました。さすがに8ヶ月を過ぎた頃からは、横隔膜の下がるスペースがなくなったのか、息を深く入れることが難しくなり、歌うのが厳しくなっていたのを覚えています。それでも、臨月直前まで演奏会で歌っていました！ 何よりも一番の問題点は、歌うんぬんのことではなく、衣装のドレスでした！ 最後はどれもファスナーが閉まらなかった……。

産後は2ヶ月で復帰をしました。まだ身体そのものが元の調子に戻っていなかったこともあり、産前のように……とはいきませんが、ブランクが少なかったことは私にとって良かったと思います。(首も座っていない生後2ヶ月で、琵琶湖まで連れていかれた娘にとってどうだったかは分かりませんが？！笑)

というも、アウグスブルグ歌劇場と専属契約をしていたときは年間約70公演に出演し、公演がない日も殆どはお稽古……という歌手としてはかなりハード(のどを酷使しているかのよう)な生活をしていましたが、そのくらい歌っているほうが私の場合は良い状態をキープ出来るようで、声のことで不安を感じたことは殆どありませんでした。

声帯は筋肉ですから、あまり休ませすぎるとコントロールが難しくなり、自分の中での感覚が鈍ります。だからといって練習をしすぎたり、声帯に過剰な負担をかけたりすることは良くありません……。楽器のように、壊れたからといって新しいものを購入することは出来ないのですから！！

自分の限界をきちんと見分けることも仕事のひとつと言えるでしょうか。そういう意味で、私が産後2か月で復帰した際の演目が、それまで自分が得意としていたレパートリーであったことは幸いで、身体の変化、声の変化としっかりと向き合うことが出来ました。

声は中音域が豊かになったように感じました。それまで中音域が弱点……というか苦手意識の強かった私としては嬉しいことでした。

そして一番の驚きは、「腹筋」の存在を初めて(!)確認することが出来たこと。声楽や合唱をかじった事のある方ならお分かりいただけると思うのですが、よく発声指導の際に言われる基礎的な注意点として、“お腹を使って”“腹筋を意識して”といったようなものがあります。↗



## 今号の1枚



妊娠8ヶ月、大阪フィルとの新春コンサートにて

それが重要であることは十分に分かっていたのですが……お腹が大きくなるにつれ姿勢が変わっていき、力を入れる事が不可能でした。(背中を反って、お腹を突き出したような姿勢になってみて下さい！力なんて入らないのです！) 実際に力を入れなくても前述のように声はピンピン鳴っていたので、腹筋に関しては随分怠け者になっていたのですね。産後初めて声を出したときに無意識のうちにお腹の筋肉を使っていて、息をコントロールすることや声を支えるという感覚を久しぶりに味わいました。

これだ……！！ これが「腹筋」なんだ！！

と感動したのをよく覚えています。

(腹筋くらい、皆さんきっと分かっていらっしゃるのじゃないかな。私はなんて鈍感なのでしょう……。)

男性読者の方にとっては、少しつまらない内容になってしまったかもしれませんが、声というものが、身体の一部であり、常に変化してゆくものであることを知っていただけたら嬉しく思います。(次号へ続く)

市原 愛



撮影：武藤章

## 市原 愛 Ai Ichihara

東京藝術大学を経て、ミュンヘン国立音楽大学大学院に学び、その後ミュンヘンのプリンツレグンデン劇場、パイロイトの辺境伯歌劇場、バーデン州立歌劇場、アウグスブルクのゲッギンゲン・クアハウス劇場、アウグスブルク歌劇場(専属ソロ歌手)、ハンブルガー・カメラータ、ミュンヘン放送管弦楽団に客演。国内では、読売日響、都響等との共演やリサイタルなどで活躍。2013年12月のトリノ 王立歌劇場日本公演ではヴェルディ「仮面舞踏会」でオスカル役に、2015年2月～4月には錦織健プロデュース・オペラVol.6「後宮からの逃走(モーツァルト)」の全国ツアーでブロンデ役に起用され、その歌唱力と演技で聴衆を魅了した。

2015年10月にファーストアルバム「歌の翼に」(オクタヴィアレコード)をリリース。

■オフィシャル・ホームページ <http://www.aiichihara.com/>

# 男は 背中では 物語る

トツカミカエリオヤジ

## 戸塚見返親仁

其之 二十

商店のご主人など、戸塚区内で働いているオヤジ世代をご紹介します。

前号の後ろ姿は…

カジュアルライブスナック Young  
たからべ さねかず 財部 実和です！

大好きな音楽に囲まれ、素敵な仲間と過ごす時間が幸せと話すマスター、いつも笑顔の裏側にはこんな理由がありました。



Youngマスター・奥さまと愉快的仲間たち



顔見世

—お店を始めたきっかけを教えてください。

昭和43年からやっています。弟のために何かやってあげようと家族で話した時に、喫茶店をやってみよう。たまたま空いている店舗があって。お店をオープンした2年後くらいかな、バンドの先輩が結成したパープルシャドウズの「小さなスナック」という曲がヒットして……「白いとびらの 小さなスナック〜」って歌詞の。(笑) 喫茶店だけではなかなか食べていけないので、弟が喫茶店、僕が夜スナックをやるようになりました。

—ギターやドラム、民族楽器などいろいろありますが、全てマスターが集めたのですか？

自分は商売を一生懸命やらなくては行けない。楽器をやっているはいけないと思い、ギター1本だけを残してあとは捨てたんだけど、不思議とお店に来るお客さまが音楽好きで、徐々に楽器が集まってきましたね。



ハワイアンがお得意

—ありがとうございました！

お店は日曜日と月曜日がお休み。音楽好きな仲間が集まれば「何かやろうか！」と即興演奏が始まりますよ！

親仁に逢いに行こう！

カジュアルライブスナック Young

横浜市戸塚区下倉田町664  
TEL:045-871-9326

戸塚駅から「バス」で南谷行き、そこから徒歩2分(130m)で到着です。



次号の親仁は……？



出張! THE LEAPSの行ったるチャン!  
 戸塚の夏・3大イベントといえば、八坂神社のお札まき…灯笼流し…  
 「戸塚音楽祭 Rockin'TOTSUKA」!!  
 なんと今年はTHE LEAPSも出演しちゃいました~!  
 今回は7月3日に戸塚公会堂にて開催されたイベントの様子をぶっちぎりでドラマチックにお届けします♡

まずは「Rockin'TOTSUKA」イベントの歴史を……  
 私たちの大先輩! 戸塚区出身のミュージシャン横浜銀蠅・翔さん、川戸昌和さんが中心となり「音楽で戸塚を盛り上げたい!」と2014年から戸塚公会堂で開催されています。  
 今年は第3回目。THE LEAPSは3月にさくらプラザ・ホールで開催されたとつかストリートライブ冬フェス・ガールズミュージック大会にて「ロッキントツカ」賞を頂き出演が決まりました。  
 リープスちゃんの「始まり」はいつもさくらプラザ・ホールから!

CRAZY KEN BAND CLASSIX、Blue Moon Boys、NUDE TRIP  
 そして我らがTHE LEAPSも写る大きな横断幕が戸塚駅の改札前にも掲げられ、熱気も高まる中、当日を迎えました!

久しぶりに入る戸塚公会堂のホール内、「ドラえもん」の映画とかここで見たよね~と、座席に座り感慨もひとしおです。  
 お父さんお母さん、私たち大きくなりました……。



ロビーでは各出演者の物販や、Rockin'TOTSUKAと商店街のお店がコラボした美味しそうな軽食も並びすごい盛り上がり!  
 その中、ひととき存在感とオーラを放つこのパネル…!  
 「翔さん、今日は宜しくお願いします!」



そして、もはやリーブスの親友(?)、戸塚区のマスコット・ウナシーちゃんも応援に駆けつけてくれた中いよいよ本番が始まります!  
 今年のRockin'TOTSUKAで最初に音を鳴らすのは…THE LEAPSでした!



ギターとドラムの2ピースロックンロールサウンド、大好きな地元・戸塚の情景が私たちの楽曲、音にいつも寄り添い、散りばめられています。そんな楽曲たちを、満員の客席に向けて届けられたのがすごく嬉しかった~!  
 この日の自己紹介は戸塚バージョン「戸塚小学校と南戸塚小学校出身のふたりがやってる THE LEAPSです!」でお届けしました(笑)



イベント出演を終えて、より一層「地元愛」と戸塚区を代表するバンドとしての自覚を強く感じたふたり。  
 ニューアルバム「ツーピース!」も発売になり、9月までは全国へ再び駆け巡ります!  
 さあ、お次はどこへ行ったるチャン!?



**THE LEAPS (ザ・リーブス)**  
 横浜市戸塚区出身。幼なじみ同士のGt&Vo.MAYOUとDr&Vo.NANA-Aからなる2ピースバンド。  
 2ndアルバム「ツーピース!」がライブ会場、オフィシャル通販にて絶賛発売中。9/24には「ふたりのビッグショーツアー2016」ファイナルを渋谷CLUB CRAWLにて開催!  
 ■オフィシャルホームページ <http://theleaps.net>

# さくらプラザ ユーザーズ・ヴォイス USER'S VOICE Vol.8 桑の実会

さくらプラザをご利用いただいた団体の方の声を毎号お届けするコーナーです。

- 団体名: 桑の実会
- 団体活動歴: 14年目
- 2016年7月 さくらプラザギャラリーで、「第14回 桑の実会 絵画展」開催。



代表: 山田 佳邦 さん(ご自身の作品の前で)



## QUESTION

1. どんな活動をしている団体ですか?  
 月2回、油彩・水彩画を楽しみながら描いています。
2. どんな方が参加をしていますか?  
 男女・年齢に関係なく、幅広いメンバー構成です。現在は、50~80代の方が13名参加しています。
3. 活動のモットーを教えてください。  
 「気軽に楽しみながら、和気あいあい。」  
 モチーフは各自が決めています。
4. さくらプラザを選んだ理由、おすすめポイントを教えてください。  
 近いから、見に来てくださる方も気軽に来られるからです。料金も手頃なところもポイントです。今回が3回目の利用でした。

# 出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を鋭意取材中! 詳しくは「戸塚新聞」で検索!

## #04 味 ママさんパティシエ奮闘中! 米粉の焼き菓子 「HupiHupi」

知る人ぞ知る! お店を取材しに行ってきました。米粉専門というちょっと珍しい焼き菓子店です。なぜ米粉かって? 後々に説明するとして、まずはのぞいてみましょう!  
 米粉焼き菓子のお店「HupiHupi」国道1号線「舞岡入口」付近、自宅の1階が店舗になっています。営業は週に一度、土曜日のみ! というのもオーナーパティシエの永井さんは、まだ小さいお子さんがいるママ。土曜日はパパにお子さんを見てもらって、お店

を開けているそうです。  
 新潟の藤井商店さんから取り寄せたコシヒカリの米粉100%を使用。あちこちの米粉を試したのですが、やはり日本一の米どころ新潟県。お米がおいしいんだから、米粉だっておいしく決まってる! 米粉によって水分の吸い方や粒子の粗さ・細かさなど特徴がありますが、永井さんのお菓子づくりにピッタリの米粉だそうです。  
 永井さんは子どもの頃からお菓子づくりが大好き。さまざまな仕

事を経験したり、カフェをやりたいと思って学校に通ったことありますが、興味をもっていた米粉の魅力にハマリ、独学で研究に研究を重ねて、おいしい米粉の焼き菓子レシピをたくさん編み出しました。以前に住んでいた磯子区で米粉の焼き菓子の通販を2年くらい、こちらでは念願だった対面販売のお店をopenさせ、ちょうど4周年を迎えたとこです…続きはwebで!



今回取材したお店

**Hupi Hupi**  
 戸塚区柏尾町170-77  
 TEL045-443-6590  
 営業: 土曜日11:30~売り切れまで

Information  
**「戸塚新聞」とは**  
 戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索!  
 検索

戸塚新聞 HupiHupi 検索

隔月、金曜夜8時、ベートーヴェンのピアノの調べに酔いしれる。

**若林 顕セルプロデュース**  
**ベートーヴェンピアノ・ソナタ 全32曲**

各公演ともに全席指定 前売2,000円/当日1,500円  
 学生1,000円

- Vol.15 9/30(金)\*
- Vol.16 11/11(金)
- Vol.17 1/13(金)
- Vol.18 3/17(金)\*

※当日・学生券はさくらプラザのみでの販売となります。

各回20:00開演

**\*…アンコール公演**

3年目を迎えた「ベートーヴェンピアノ・ソナタ全32曲」シリーズの中で、好評を博した曲を再び演奏します。



名ヴァイオリニスト鈴木理恵子がお届けする、極上の室内楽シリーズ

**鈴木理恵子 室内楽シリーズVol.5**  
**ヴァイオリンとチェンバロの調べ**  
 ～王宮の響き～

鈴木 理恵子(Vn)  
 曾根 麻矢子(Cemb)

12/10(土) 14:00  
 全席指定 一般3,000円  
 ペアチケット 5,000円

Ticket さくらプラザ電話予約  
 9/21(水)14:00～  
 \*窓口販売は翌日9:00から



デビュー15周年、“音の詩人”が贈るとっておきのCD制作秘話と美しき音色

**ギタリスト大萩 康司CDリリース記念**  
**特別レクチャーコンサート**

9/10(土) 14:00  
 全席指定 1,500円

©ピクチャーエンターテインメント



秋のさくらプラザ寄席 第1回

**五人の真打による 庚寅長月の会 戸塚公演**

柳家小せん、蜷気楼龍玉、三遊亭鬼丸、林家さく磨、入船亭扇里

11/5(土) 14:00  
 全席指定 一般2,500円/市民2,000円

Ticket さくらプラザ電話予約  
 9/15(木)14:00～  
 \*窓口販売は翌日9:00から



爽やかな風の中に響き渡る優雅なフルートの音色

**山形 由美デビュー30周年**  
**CD発売記念リサイタル**

～パリの風にのって～with菅野 潤(Pf)

9/22(木・祝) 14:00  
 全席指定 一般2,500円  
 ペアチケット 4,500円  
 学生1,500円

©Takuya Okamoto



思わず誰もが口ずさみたくなるような懐かしい曲の数々  
**名曲サロン Vol.3**  
**「口笛で楽しむ 懐かしの日本のうた(秋&冬)」**

日本口笛奏者連盟名誉会長 高橋 一眞  
 エレナ

10/20(木) [第1回] 11:30 / [第2回] 14:30  
 全席自由 500円  
 会場: さくらプラザ リハーサル室

\*第1回(11:30開演)は未就学児入場可  
 (0~3歳児はひざ上での鑑賞の場合のみ無料)



さくらプラザ × 横浜音楽祭2016

**シトラー(Pf) & フライシュマン(Vn)**  
**デュオ・コンサート**

9/23(金) 14:00  
 全席指定 1,000円



**PIANO楽しみ方講座**  
**聴き比べてみよう～あの名曲をお洒落にアレンジ!～**

小林 滉三(Pf)  
 10/30(日)15:30 全席自由 800円  
 会場: さくらプラザ リハーサル室

Ticket さくらプラザ電話予約  
 9/11(日)14:00～  
 \*窓口販売は翌日9:00から



「真夏のこども探検隊」に昨年に続き家族で参加しました! 暑い時期に涼しい館内で楽しむことができるので、とってもありがたいです。ファミリーコンサートもかわいらしく楽しめました。これからも、家族で参加できるイベント、期待しています。【ペンネーム:あひるちゃん】

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演チケット\*をプレゼント!

\*ご希望に沿えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。  
 ※200文字程度におまとめください。※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただきます。

戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17  
 戸塚区総合庁舎 4F

http://www.totsuka.hall-info.jp

event@totsuka.hall-info.jp

編集後記 9月22日に公演を行う山形由美さん。当日発売されるCDはさくらプラザホールで収録されたんです! 詳しくはインタビュー(P.2-3)をご覧ください。(桑田)



Vol.19  
 9・10月号